

生徒指導・進路指導論

[講義] 第2学年 後期 選択 教職必修 2単位

《担当者名》武井 昭也 (非) a-takei@ts.siu.ac.jp

【概要】

生徒指導、進路指導、キャリア教育の意義、理論、指導方法について学ぶが、学生が分担する事例や項目の発表・補足などにより授業を展開する。

【学修目標】

生徒指導については、人格の尊重、個性の伸長のもとに、社会的資質や行動力を高める教育活動全体を通じ行われる教育であることを理解する。また組織的に生徒指導を進めるために必要な知識・技能や素養を身に付ける。進路指導については、将来の進路を選択・計画し、その後の生活の適応、能力の伸長を組織的・継続的に指導・援助する過程であること、長期的展望のもと人間形成を目指す教育活動であることを理解する。また社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力を育むキャリア教育について理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス	授業展開の概要、いじめ・不登校などの課題の提示、教育課程上の生徒指導の位置付けの理解	武井
2	生徒指導体制と教育指導体制の基礎的な考え方	各教科・道徳教育・総合的な学習の時間・特別活動における生徒指導の意義・重要性と事例による解説	武井
3	分掌と担当役割	学級担任の役割、教科担任と校務分掌上の担当役割、組織的な取り組み	武井
4	生徒指導のあり方	基礎的な生活習慣の確立、規範意識の醸成、生徒指導のあり方	武井
5	生徒指導の基本視座	児童生徒の自己理解と共感性を育むこと、生徒指導の基本視座、子ども理解と生徒指導	武井
6	生徒指導と法令	生徒指導に関する法令理解（校則・懲戒・体罰・停学・退学など）	武井
7	生徒指導上の今日的課題	生徒指導上の課題（インターネット・SNS・児童虐待・貧困など）とその現状・対応（含関係者・機関との連携）	武井
8	暴力行為、いじめとは何か	生徒指導上の課題の歴史と現状、対応・関係機関との連携	武井
9	教育課程と進路指導	キャリア教育など課題提示、教育課程上の進路指導、キャリア教育の位置づけ	武井
10	キャリア教育の歴史と基礎理論	キャリア教育の歴史と基礎理論 - パーソンズ・ホランド・マズロー・スーパー、日本の推移、カリキュラム・マネジメントの意義	武井
11	進路指導・キャリア教育の諸活動	生徒理解と自己理解、体験活動、進路相談	武井
12	進路指導・キャリア教育の組織運営	校内体制の確立、進路指導部、担任、各教科担当、関係機関との連携、家庭との連携、キャリア教育の意義・留意点	武井
13	進路指導・キャリア教育の計画実践	小学校・中学校・高等学校・インターンシップ	武井
14	キャリア・カウンセリングの理論・技法とその活用	目的・特徴・留意点	武井
15	まとめ・キャリア形成	キャリア形成と自己評価の意義の理解、ポートフォリオの活用のあり方	武井

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

課題・意見交換・・・20%、レジュメ作成と発表・・・20%、定期試験・・・60%

【教科書】

- 「高等学校学習指導要領」(平成30年3月告示 文部科学省)
- 「高等学校学習指導要領解説」(最新版)
- 「中学校学習指導要領・同解説」(平成29年3月告示 文部科学省)

【参考書】

- 「青い鳥」重松清(新潮文庫)
- 「問い続けて」林竹二(径書房)
- 「思春期のこころ」清水将之(NHKブックス)
- 「いじめとは何か」森田洋司(中公新書)
- 「生徒指導提要」(平成22年3月 文部科学省)

【学修の準備】

- 森田洋司『いじめとは何か』中公新書2010
- 森岡孝二『就職とは何か』岩波新書2011
- 本田由紀『教育の職業的意義』ちくま文書2009

【免許法施行規則に定める科目区分等】

「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の「生徒指導の理論及び方法」及び「進路指導及びキャリア教育の理論及び方法」に該当する。

【実務経験】

北海道公立高校教員12年、指導主事2年

【実務経験を活かした教育内容】

1. 実践経験の紹介
 - 「学級通信」・教務や生徒指導、教育相談、部活動顧問等
2. 教員のキャリア形成について
3. 学生の模擬授業スタイルによる発表支援
4. 北海道全域の国語教育研究会立ち上げと運営などから研修に関する事例紹介